

平成27年4月

八代港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、八代港第1号岸壁及び第2号岸壁（係船柱等を改良）への16万GT級および22万GT級客船の入出港ならびに係留の安全性について調査検討するとともに、前年度検討された13万GT級他2船型の大型客船の係留可能風速と接岸速度を再検討した。

今回の検討対象である大型客船については、各船型ごとに操船及び係留の安全性について詳細に検討した。操船面での検討については、外力下におけるアプローチ・回頭・着離岸の各要素操船について、ファストタイム操船シミュレーション及びビジュアル型操船シミュレータを用いた操船実験を行って検証し、入出港操船の安全性を調査・検討するとともに、船体に作用する風圧力等の外力影響、岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査し、許容接岸速度及び安全に入出港が可能な気象・海象の外力条件等について取りまとめた。

また、係留の安全性についてはOCIMFの計算手法を用いて、係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

更に、前年度検討した3船型の係留可能風速及び接岸速度についても、同様の手法で再検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 入港大型客船と係留施設等
- (3) 航行環境
- (4) 基礎検討
- (5) 16万GT級客船の入出港時の安全性検討
- (6) 22万GT級客船の入出港時の安全性検討
- (7) 大型客船接岸時の安全性検討
- (8) 係留力の検討
- (9) 航行安全対策
- (10) 平成25年度対象船舶の係留等再検討